



記念日に大輪の花を添えて

3月1日、上対馬町鰐浦で市制施行10周年記念イベント「対馬国境花火大会」が開催されました。対馬で初めて打ち上げられた直径480mの20号玉に、大きな歓声が沸きあがりました。



命の砦完成

3月30日、対馬市消防署豆殿分遣所の落成披露式が行われました。この分遣所の完成で厳原南部地区の救急搬送時間が大幅に短縮されることになりました。

おっ つしま
！な島です。対馬

つしま Tsushima
トピックス Topics



希望を胸に、旅立ちの刻

3月、市内各学校で卒業式が行われました。県立豊玉高等学校では卒業生21名に卒業証書が手渡され、3年間の思い出を胸に、学び舎をあとにしました。



ありがとう これからも繋がっていこう

韓国からの国際交流員：李敏貞さん(写真左)・朴瑯慧さん(写真中央)、中国からの国際交流員：羅齊慧さん(写真右)が、任期を終えて退任されました。3人は海外からの訪問客の通訳や接客、韓国語・中国語講座や料理教室の開催など、数多くの国際交流業務を手掛けていただきました。離れても、これからも対馬を見守っていきましょう。



寺永 ナミコさん (美津島町)
 大正4年3月21日生まれ



小島 正枝さん (美津島町)
 大正4年3月23日生まれ

祝 白寿 おめでとうございます

99歳を迎えられた方々に市から褒状とお祝い金が贈られました。これからも長生きしてください。

Pickup!① タッグを組んで「赤米」を未来へ

3月1日、対馬市は、鹿児島県南種子町・岡山県総社市と「赤米伝統文化交流協定」を締結しました。

対馬市赤米諮問大使である歌手の相川七瀬さんに、3市町の間を取り持っていただきました。



3カ所に古代米としての赤米の神事が受け継がれ存続してきたことを祖先に感謝するとともに、神事に携わる方々、氏子のみなさまをはじめ、

地域のみなさまには、心からの「ありがとう」を日本人の一人としてお伝えしたいと思います。

赤米伝統文化交流協定の結びつきを道とし、赤米への思いを希望の光とし、未来に灯していきけるよう、これからも活動して参りたいと思います。

平成26年3月1日

南種子町トンミー大使・総社赤米大使・対馬市赤米諮問大使

相川七瀬

大学のチカラを借りて、有害鳥獣を有効資源に

Pickup!②

に 関 る 協 定 書 締 結 式



3月26日、対馬市は大阪府立大学（大阪府堺市）と「野生シカ及びイノシシ肉の食料利用促進を目的とした、栄養学的・食品衛生学的研究」に関する連携協定書を締結しました。

現在、有害鳥獣対策で捕獲されたイノシシ及びシカの多くは埋却処分されています。大学との連携協定により、シカおよびイノシシ肉の「食品衛生学的リスクの評価」や「安全かつ高付加価値な

食肉製品加工方法の確立」を行い、食用資源として活用することで新たな産業の創出、地域振興につなげたいと計画しています。

Pickup!③ たくさんの思い出をありがとう

3月31日をもって、南陽小学校が閉校、久田幼稚園・巖原幼稚園が閉園統合となりました。

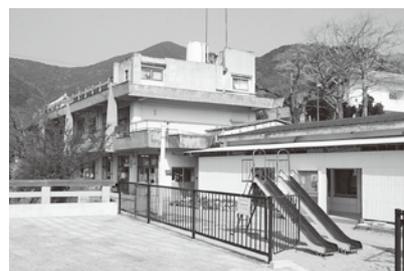
閉校・閉園式では、卒業・卒園生や地域の方々が思い出のたくさん詰まった学舎に別れを告げました。



南陽小学校



久田幼稚園



巖原幼稚園